

コミュニティだより  
**おんい! 栗林** 2022年(令和4年)12月1日  
発行 栗林校区コミュニティ協議会  
高松市栗林町3丁目2-12 TEL/FAX 835-5399  
E-mail: riturin-c@mc.pikara.ne.jp

■栗林校区の人口 / 16,891人 男 / 7,995人 女 / 8,896人 ■世帯数 / 8,144世帯 (2022年11月1日現在)



## 2022年度 盛大に 栗林校区文化祭

2面に関連記事

年を重ねると、1年が過ぎるのが、何と早いこと。もう「師走」の入り。1年の締めくくりで、最も慌ただしい1カ月。今秋を総括してみると、栗林校区では、コロナ禍で自粛していた各種イベントが、ようやく復活の兆しが見えました。校区の福祉事業の草分けである「老人給食」に変わり、「げんき社協の会」が発足。10月5日に初会合が開かれました。3年ぶり、高齢者の笑顔の輪が広がりました▼秋の一大イベントとして定着した「栗林公園おもてなしクリン作戦」。7回目を迎え、区内の企業や各種団体のほか、小、中、高生のほか、賛同した一般市民ら、これまでで最も多い約300人が協力。インバウンド復活に願いを込めました。また、「栗林校区文化祭」は、会食バザーを除く、フルメニューが復活。りつりんの秋が戻ってきました。師走恒例の「餅つき大会」も開催されます。何でもない「日常」が、コロナ自粛があったため、一段と新鮮味を感じます▼高校野球界で嬉しいニュース。来春の選抜大会の選考資料となる「秋季四国地区高校野球大会」が高松市で開催されました。県勢は英明と高松商が決勝に進出。英明は優勝しましたが、準優勝の高松商と共に2校のセンバツ出場が濃厚。「野球王国復活」を期待します▼明けて来年は「卯年」です。校区の皆さま、良い年をお迎えください。

栗ちゃん発信

## 非常持ち出し袋展示

### 栗林小で防災授業

栗林小学校(藤井浩史校長)の防災授業が9月10日(土)、同小3階エレベーターホール前で行われました。栗林校区自主防災組織連絡会(石川雅信会長)が、災組織連絡会(石川雅信会長)が、水や食器類のほか、カロリーメイトなど、安価で購入できる非常袋の



中身を展示。児童たちは、各クラスごとに見学に訪れ、防災への意識を高めていました。従来は同連絡会のほか、栗林女性防火クラブ、高松南部消防団と合同でAEDの操作などの消防訓練を行っていたが、コロナ禍のため、中断していました。

### 野菜たっぷり生活!

栗林地区食生活改善推進員による野菜たっぷり生活講座が行われました。昨年度はコロナ禍で中止となつたため、久しぶりの調理実習となりました。9月は「お手軽副菜編」として、蒸しナスの大葉和えなど3品、11月は「おべんととう編」として、れんこんと大葉のつ



くね、水菜の柚子胡椒ナムルなど4品を調理。野菜がたっぷり食べられるコツなどを実習を通して教わり、出来あがったものは持ち帰りました。

### 栗林Aチームが準優勝

高松市老人クラブ連合会は、9月7日(水)東部下水処理場グラウンドでターゲットボードゴルフ大会を開催しました。市内全域から代表チームが参加し、栗林地区老人クラブ連合会からは2チーム7人が参加、栗林Aチームが準優勝しました。おめでとうございます。



### 大人気! 夏休み宿題お助け講座

今年の栗林コミュニティセンター講座の1つ、夏休み宿題お助け講座は、「竹細工でドラえもん」「書道教室」「ハーバリウムデコレーション」をつくる講座を開催しました。参加者は、講師の指導のもと、集中して作業を行いました。完成した作品は、とても可愛らしいです。



### 「事故死ゼロ」を訴え

栗林校区コミュニティ協議会(高田稔会長)と校区交通安全母の会(御所みき会長)など校区の各種団体代表などが、秋の全国交通安全運動期間中の9月30日(金)午後5時から、栗林公園東門前歩道で「反射材着用啓発街頭大キャンペーン」を展開しました。県の西原義一副知事も駆け付け、約70人が「交通事故死ゼロ」をドライバーらに訴えました。



「事故死ゼロ」に願いを込めていました。

### 水さんのヨモヤマ話

#### 冬至の話

12月22日は二十四節気の一つ「冬至」です。冬至は一年で昼が最も短い日です(厳密には、その前後の日となります)。ちなみに、高松市における2022年12月22日の昼間の長さは9時間52分です。最も短い日は12月21、23、25日の9時間51分だそうです。

また、冬至は一年で昼が最も短い日ですが、最も日の出が遅い日や、最も日の入りが早い日とは一致しません。日の出が最も遅い日は、冬至の約半月後で、また日の入りが最も早い日は、冬至の約半月前となります。

冬至には「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めると言われています。この「ん」のつくものを運盛りといい、運盛りの食べ物に「ん」が二つ付けば「運」も倍増すると考えられていて、なんきん(南瓜、かぼちゃ)・れんこん(蓮根)・にんじん(人参)・ぎんなん(銀杏)・きんかん(金柑)・かんてん(寒天)・うんどん(饅頭、うどん)の7種を『冬至の七種』と呼ぶそうです。